

09.10.2018

プレスメッセージ

Pilz GmbH & Co. KG
Felix-Wankel-Straße 2
73760 Ostfildern
ドイツ
<http://www.pilz.com>

SPS IPC Drives 2018: ピルツは安全センサ技術 を活性化 - 全感覚を駆使したオートメーション

オストフィルダン, 09.10.2018 - ニュルンベルクで開催される今年のSPS IPC Drives (会期: 2018年11月27日~29日)で、ピルツは安全センサ技術を中心に展示します。センサ技術のさまざまなアプリケーション向けのコンポーネントやトータルソリューションのデモをご覧ください。新しいライトカーテンPSENopt II (ボディプロテクション) がニュルンベルクで初公開されます。ドライブ技術ピルツモーションコントロール(PMC)の新製品や、新しい資格コース"CECE - Certified Expert in CE Marking" も展示会で紹介します。

ピルツのスマートファクトリーは、展示会で安全センサ技術を活性化させます。このモジュラ式生産ラインは、再び拡張されたIndustrie 4.0の実用例です。分散型制御インテリジェンス、モジュラ式サービスロボット、インテリジェント診断および視覚化、Cloud接続などにより、さまざまなバッチサイズ1製品の製造が可能になり、セキュリティ対策も施されます。

安全センサ技術が中心的なタスクを実行: 従来のエリアおよびゾーン監視や安全扉の保護、或いは人とロボットの協働から、品質管理診断や機械の操作などの新しいアプリケーションまで対応します。

コンポーネントからモジュラ式安全システムまで

個々のコンポーネントを接続してシステムを構成すると、インテリジェントで経済的なソリューションを構築できます: ニュルンベルクでピルツが紹介するモジュラ式安全扉システム、安全扉保護用の個々のソリューションを使用すると、不具合が発生した場合も迅速な診断が可能になります。動的な圧力検出安全マットPSENmatは、1つのデバイスで仮想押しボタンを使用して、監視および制御機能を提供します。安全レーザーキャナPSENscanで生産エリア監視を実行できます。

ライトカーテンPSENopt II: ボディプロテクション用ニューバージョン

ニュルンベルクで、ビルツは[ライトカーテンPSENopt II](#)のニューバージョンを発表します。保護フィールドの高さが最大1500 mmで、フィンガーおよびハンドプロテクションに加え、ボディプロテクションも最高の安全カテゴリPL eに適合します。耐衝撃性50 gのため、PSENopt IIは衝撃、振動、衝突に耐え、極めて堅牢です。最大50 mの保護エリアとLEDによる容易な診断機能で、危険エリアの経済的な監視が可能です。

複数のビルツサービスロボットのデモ

ビルツは[サービスロボットモジュール](#)を発売し、ロボティクス製品ポートフォリオを拡張します。積み木方式で、ユーザは個々のサービスロボットアプリケーションを構築できます。ビルツサービスロボットモジュールは、[マニプレータ](#)、[制御モジュール](#)、[オペレーティングモジュール](#)、ソフトウェアフレームワーク「ロボットオペレーティングシステム」(ROS)に基づくソフトウェアモジュールで構成されます。ニュルンベルクでは、ビルツのサービスロボットを以下のようなさまざまなアプリケーションでご覧いただけます: 双腕バージョン、無人搬送車(AGV)と相互作用するモバイルバージョン、スマートファクトリーのピックアンドプレイスアプリケーション、および油圧で動作する「小型プレス」など。

ビルツのモーションコントロール: パフォーマンス向上、コスト削減

ニュルンベルクで発表する新製品の1つに、ビルツの新世代[モーションコントロールシステムPMCprimo C2](#)があります。パフォーマンスの向上により、サイクル数が増え、生産品質が高くなります。多数のインターフェースやエンコーダ入力に加え、データセキュリティのためのデジタル入出力やUSBインターフェースで、高い柔軟性を確保します。

純粋なデジタルモータフィードバックプロトコルHIPERFACE DSLは[サーボモータPM Ctendo SZ](#)でもご利用可能になりました。周波数変換機とモータフィードバックシステム間で、最短の接続ケーブルを使用します。そのため、サーボモータPM Ctendo SZは、ドライブ技術でシングルケーブルソリューションを使用するトレンドをサポートしています。コスト節約のみならず、省スペース、取り付けの工数削減も実現します。

CEエキスパートとして世界で認められる資格

ピルツは秋からトレーニングコースを拡張し、"CECE - Certified Expert in CE Marking"の資格コースを開講します。この国際的な資格コースは、TÜV Nordに認証されており、新規、既存、または更新された機械のCEマーキングを実施するために必要な専門知識を提供します。

SPS IPC Drives 2018: ピルツはホール9、ブース370に出展します。

ピルツブースの詳しい情報は[こちら](#)。



キャプション: SPS IPC Drives 2018のピルツブースでは、安全センサ技術を中心に展示します。

テキストと画像はwww.pilz.comで検索、ダウンロードできます。プレスセンターで関連するインターネットのページを直接開くには、以下のWebコードをホームページの検索画面に入力してください。: **196334**

ピルツのソーシャルネットワーク

ピルツのソーシャルメディアチャンネルでは、ピルツと社員の参考情報の他、オートメーション技術開発に関する最新情報をお知らせします。

 <https://www.facebook.com/pilzjp>

 https://twitter.com/Pilz_INT

 <https://www.youtube.com/user/PilzINT>

 <https://www.linkedin.com/company/pilz>

 <http://ura-pilz.com/>

記者向け連絡先

杉原 千砂

マーケティング・コミュニケーションズ部

045 471 2286

mkt@pilz.co.jp